

関西観光・文化振興計画の改定案について

平成 30 年 1 月 20 日

広域観光・文化・スポーツ振興局

平成 29 年 10 月の産業環境常任委員会、平成 29 年 11 月に実施したパブリックコメント、はなやか関西・文化戦略会議での御意見を踏まえ、関西観光・文化振興計画検討委員会（以下「検討委員会」という。）で各専門の委員から御意見を伺い、中間案から下記のとおり変更

記

中間案からの主な変更

変更箇所・内容	変更理由
サブタイトル 『2020 年外国人観光客 1,800 万人を目指して』から 『～「アジアの文化観光首都・関西」～』に変更	関西は 5 つの世界遺産を有し、既に訪日外国人 が 1,200 万人を超えると推計されることから、キ ャッチアップではなく、確固たる地位を確立する ことを将来像とするため（検討委員会での意見に 対応）
2 計画の基本方針と将来像 （2） 将来像 計画の将来目標は「アジアの文化観光首都・関西」 としての地位の確立。 資料 3-2 P2	上記に同じ
3 現状と課題 （2） 課題 ●旅行消費額の拡大 ・観光振興の大きな目的の一つが地域経済の活性化 であることから、旅行者数を増やすだけでなく、 都市部にとどまらず関西全域で旅行消費額を拡大 させることを念頭に置いて取組を進める必要があ る。 資料 3-2 P11	旅行消費額を拡大する仕組みについて明文化 （産業環境常任委員会での意見に対応）
5 目標達成のための戦略 戦略テーマ I 国際競技大会等を踏まえた観光の推 進 ②文化プログラムの推進 文化があつて初めて創造性が生まれ、創造性が豊か になって初めて素晴らしいイノベーションが起き、 それが経済につながっていく観点のもと、関西各地 の文化資源（以下省略） 資料 3-2 P13	文化が経済など他の分野につながることに ついて明文化（はなやか関西・文化戦略会議での意 見に対応）

<p>戦略テーマⅡ 文化力の向上と文化観光の推進</p> <p>② 文化力の向上</p> <p><u>世界遺産をはじめ、(中略)、日本遺産等を活用し、観光による経済的な効果を文化に投資するという循環を作り、関西文化のブランド力を向上させる。</u></p> <p>資料 3-2 P13</p>	<p>文化が経済など他の分野につながることに ついて明文化（はなやか関西・文化戦略会議での 意見に対応）</p>
<p>戦略テーマⅢ 外国人観光客の急増対策としてのインフラ整備の充実</p> <p>⑥ 宿泊施設不足への対応</p> <p><u>・住宅宿泊事業いわゆる民泊については、それぞれの構成府県市の地域の実情に応じた取組を尊重し、各地における優良な民泊に関する情報発信を行う。</u></p> <p>資料 3-2 P15</p>	<p>民泊への取組について明文化（パブリック コメントに対応）</p>
<p>戦略テーマⅤ 旅行消費額拡大に向けた取組</p> <p>① <u>一人ひとりの旅行消費額の上昇</u></p> <p><u>・ラグジュアリー層の誘客を図るとともに、関西の高付加価値な商品による「モノ消費」、食・スポーツ・カルチャー体験など「コト消費」の双方で一層の消費を促すための情報発信を強化する。</u></p> <p><u>・外国人観光客の関西での消費機会の創出を図るため、美の伝説等、多彩な広域観光周遊ルート</u> <u>の発信による滞在期間の長期化を促すとともに、夜間営業・開館を行う施設等、ナイトライフに関する情報発信を行う。</u></p> <p>② <u>決済環境の整備（※他の項目から移動）</u></p> <p><u>・外国人観光客のショッピング促進を図るため、免税店の拡大、決済環境の変化に対応した整備を進める。</u></p> <p>資料 3-2 P16</p>	<p>旅行消費額を拡大する仕組みについて明文化 (産業環境常任委員会での意見に対応)</p>